令和6年度　法人の執行状況報告(案)

【法人本部】

法人一丸となって取り組んできた財務状況の改善について、ある程度の成果をあげることができた。徹底的な経費の見直し、事業の効率化を図ることで債務に対する返済の再開に至った。引き続き厳しい局面は続くが、各事業ともに緊張感を保ちつつ引き続き精進していきたい。

各エリアについては、それぞれの事業報告をご参照いただきたい。

特筆すべき点として、厚生労働科学研究「地域生活支援拠点等における地域移行を進めるための役割及び緊急時の対応における役割の明確化のための研究」への協力をとおして、地域生活支援拠点等が担うべき役割について研鑽を高める機会を得ている。関連して、厚生労働省、こども家庭庁、ほか、関係機関からの視察も多く受けた。

3回目となった権藤説子さんのご厚意によるバリアフリー演劇公演については、10月に西原商会アリーナにて開催し好評を得た。

全国地域生活支援ネットワークの活動、一般社団法人 東京演劇集団風研究所の展開に加えて、地域生活支援拠点等を中心とした共生社会を目指す全国協議会(ホトトギスの会)にも積極的に関わらせていただきつつ、法人内スタッフの研鑽の場としても活用させていただいている。

【事業企画課】

鹿児島市施設連絡業議会の事務局継続。

法人として鹿児島市こども家庭支援センターより育児支援家庭訪問事業を受託。

家庭裁判所からの補導受託継続。

【監事監査】2025年５月21日(水)、27日(火)
【理事会】 2024年5月30日(木)、2025年３月28日(金)
【評議員会】2024年６月22日(木)
【経営会議】2024年8月14日(土)、10月26日(土)、12月21日(土)、2025年1月18日(土)
【第三者委員会・運営協議会】2024年８月9日(金)

社会福祉法人ゆうかり

令和６年度　ゆうかり学園 事業報告(案)

1. 事業報告

1)施設入所支援

定員40名 期首 37 名(男22:女15)／期末 40 名(男24:女 16)

期中、待機登録者のうち、男性利用者2名、女性利用者１名の受け入れを行った。

今年度当初、女性利用者１名をやむを得ない事情により定員オーバーにて受け入れを行った。

５月４日、男性利用者１名が逝去された。

3年間稼動率推移 83⇒89⇒95(%)

実質待機利用者１名。

2)生活介護

定員75名 期首 75 名／期末 81 名

昨年度に引き続き、利用者の実態に合わせて就労継続支援B型からの事業変更を行った結果、契約者数 81 名となった。今後、平均実利用者数の管理を行っていく。

めぐい作りを辞め、スプラウトシール貼りの受託のみとした。

3年間稼動率推移 69⇒82⇒89(%)

今後さらに増える生活介護利用者の受け入れについて早急に検討する。また、通常活動や祝日イベントの充実など、参加利用者の満足度向上はもちろん、集客に繋げたい。

3)就労継続B型

定員45名 期首 27 名／期末 21 名

園芸部、畜産部黒牛部門は継続とする。

3年間稼動率推移 71⇒58⇒47(%)

今後、生活介護としての活動内容を模索していく。

2. 日中活動報告

1)園芸(蔬菜)

安心安全でおいしい野菜を提供することを目標に掲げて、減農薬での野菜作りから可能な限り無農薬での野菜作りを念頭に置きながら活動に取り組んでいる。しかし、利用者の高齢化により支援度があがり、参加できる作業が限られてきている。そのため活動内容の見直しと、工賃支払いのため収入向上が課題となっている。

2)園芸(花卉・果樹)

園内の花壇の美化は勿論、みなよし療護園などの花壇の管理を行っている。果樹では、ミカン、ブルーベリーの出荷先として天文館果実堂との提携を引き続き実施。また、ゆうかり保育園の園児たちの芋ほり、ミカン狩り、ブルーベリー狩りの場として利用している。しかし、同様に利用者の高齢化により支援度があがり、参加できる作業が限られてきている。そのため活動内容の見直しと、工賃支払いのため収入向上が課題となっている。

3)畜産

飼料の高騰化対策として、牧草を自家生産することで黒牛部門のみ存続とした。但し、牛価格の

下落が続いており、暫くは様子見とする。
園芸部、畜産部に関して、生活介護としての活動内容を検討していく。

4)工芸(木工)

活動部としては廃止となっているが、門松の製作については継続している。今後、工作機械の維持や、木工製品の在庫の処理が課題となっている。

5)すまいる

利用者の高齢化に伴い、健康の維持・管理が日常業務となり、バイタルチェック実施後活動を始めている。絵画をはじめ作品制作などの創作活動やスプラウトシール貼りの受託、オフィスコンビニの運営などの活動をしている。これまでの活動の他に、園芸、畜産部との共働など利用者の皆さんが楽しめて、能力を発揮できる魅力的な活動を企画・実行していく。

7)ふれあい

すまいる同様利用者の高齢化に伴い、健康の維持・管理が日常業務となり、バイタルチェック実施後活動を始めている。健康体操、歩行散歩、リクリエーションなどを中心に健康維持を第一に考えた支援を継続する。コロナ禍により、近隣公園での歩行などほとんど外出ができておらず、利用者から外出したいという声が多数寄せられている。すまいる同様、魅力的な活動を企画・実行していく。

3. クラブ活動

1)空手クラブ

講師　　中田保男氏(全日本少林寺流空手道連盟)
利用者　10 名
毎週木曜日　13:15～14:45　体育室にて

2)太鼓クラブ(生活介護プログラム)

講師　　瑞宝太鼓(就労継続支援 A 型事業)

※　以前は、絵画クラブ、生花クラブ、音楽クラブなど充実していたため、復活を望む利用者の声が多い。同クラブの復活もしくは新しいクラブ活動の開始を検討する。

4. 職場実習及び施設外実習

中央仮設、ニッセイ鹿児島、久保水耕園へ職場実習として受け入れをしていただている。金銭管理や余暇の過ごし方への支援が課題。
また、職場実習を望んでいる利用者に対して受け入れ先を検討する必要がある。

5. 災害時訓練の実施

9月24日　災害時を想定し、昼食として非常食を提供した
　　非常食(アルファ米、パウチ袋入りハンバーグ・さつま芋のレモン煮、缶入り味噌汁)

6. 修繕の実施

1)男性入所棟浴室改修
2)　〃　　更衣室改修工事

3)女性入所棟バリアフリートイレ設置工事

7. 子育て世帯訪問支援事業

訪問世帯数 1

延訪問件数 3

8. 補導委託

2名(内1名は途中で委託中止)

9. 令和4年度 活動報告

① お悔やみ情報

日付	お名前
9/23	郡山洋己様葬儀(9/22逝去) ※2024/4/18 退居
10/13	久野陸雄様葬儀(10/11 逝去)

② 運営会議ほか

日付	名称
8/3	ゆうかり家族会役員会
8/9	相談・苦情報告会
8/10	ゆうかり家族会総会

③ 各種行事

日付	行事	参加人数
4/8	ナイスハートふれあい広場	12
4/27	知的障害者親善球技大会	8
5/19	鹿児島県障害者スポーツ大会	9
6/2	ふれあいスポーツ大会	15
11/4	秋まつり(ゆうかり学園内)	全員

④ 各種研修会

期間	各種研修会	参加人数
6/5	新任職員研修会	1
9/24~3/26	サービス管理責任者更新研修	7
10/19	虐待・身体拘束に関する内部研修	40
11/14~12/13	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	4
12/6	感染症予防に関する勉強会	15
2/6~2/14	強度行動障害支援者養成研修(実践)	3

⑤ 研修生等の受け入れ状況

期間	男	女	学校	研修名	備考
5/27~6/7	2		鹿児島国際大学	保育実習	宿泊
6/17~6/21		5	医療福祉専門学校	歯科実習	通勤
6/24~6/28		5	医療福祉専門学校	歯科実習	通勤
7/2	18	15	警察学校	体験学習	通勤
7/29	3	5	医療福祉専門学校	介護実習	通勤
10/29~11/13	2		開陽高校	介護実習	通勤
12/2	20	14	警察学校	体験学習	通勤
計	45	44			

⑥ 実習生の受け入れ状況

期間	男	女	学校	実習名	備考
6/3~6/14		1	南薩特別支援学校	産業現場等実習(前)	宿泊
10/15~10/25		1	南薩特別支援学校	産業現場等実習(後)	宿泊
計		1			

10. 令和6年度の反省と課題

- 入所定員上限の受け入れを継続する。
- 生活介護利用者が増えたことにより、スタッフ配置増を見直し、併せて、活動内容を検討する。
- 今後増える生活介護利用者の受け入れ先について、次年度に向けて検討が急務。
- 6 月末退職希望者 3 名 ⇒ 女性スタッフの確保急務。
- 秋まつりの開催により地域交流を再開。今後継続していく。
- 昨年度に引き続き、ソーシャルワーク実習生の受け入れを見合わせる。
- 見学対応は積極的に実施する

11. 監査について

※ 2月4日(火) 社会福祉法人ゆうかり 指導監査 (文書4件 口頭8件)
ゆうかり学園 指導監査 (文書3件 口頭1件)

令和6年度　グループホームゆうかり　事業報告(案)

1. 事業報告

1）たんぽぽ(5/5)

夜間支援が必要な利用者を受け入れ。常に定員上限となっている。

2）もくれん(4/5)

たんぽぽ同様、夜間支援が必要な方を受け入れている。入院中だった利用者が、5月16日介護施設へ転居となった。

3）さざんか(6/6)

夜間の巡回見守りが必要な方を受け入れている。

4）わかたけ荘(3/4)

給湯器の配管が破裂。しかし建物自体の傷みが酷いため、修繕をあきらめて今年度中に廃止する予定。それに伴い、現在入居している利用者の受け入れ先を検討する。

5）きんもくせい(6/6)

シロアリ駆除実施。水周りの修繕にあわせてリフォームを検討するため現在見積もり中。今後大家さんと調整予定。

6）あじさい(5/5)

トイレリフォームとリビング床張替済。しかし、雨漏りが続いているため修繕を依頼しているが、原因が特定できていない。

7）びおら(3/4)

雨漏りが改善されない。建物自体の傷みも酷いため、今後について要検討。

8）まるおか(4/5)

利用者の認知症状により入居者間トラブルが発生。症状が悪化しているため、一旦ゆうかり学園にて静養中。今後について要検討。

9）すずらん荘(6/7)

利用者の認知症状と考えられる易怒性によるトラブルが頻発している。その怒りの対象が世話人に向かうことがあるため、スタッフ間で連携し、対応にあたっている。

10）コスモス(4/5)

健康面、精神面でのフォローが必要であり、都度対応いている。

11）第二わかたけ(5/6)

ゆうかり学園への通所が困難な方に対いて見守り継続中。最近、自主的に通所する様子も見られるようになっている。

12）わかば(3/4)

浴室とその周辺につき、老朽化のため修繕が必要。

13）ひまわり(3/4)

男性利用者との距離の取り方を含め支援継続中。

2.修繕の実施

1)わかば　玄関工事

2)きんもくせい　シロアリ駆除

3)第二わかたけ荘　浴室・居室照明工事

4)すずらん荘　テレビアンテナ・居室床張替・照明工事

5)コスモス　浄化槽修繕工事

※あじさい・びおらの雨漏りについて、原因特定できず未対策

3.令和６年度の反省と課題

- 入居者間のトラブル、異性関係、一人暮らしに向けて等、利用者のニーズに寄り添った支援の実施が必要。
- 男性グループホームに関して、たんぽぽ、もくれん、さざんか以外の夜間支援の充実について要検討。
- 女性グループホームの夜間支援について要検討。
- 余暇支援の充実について検討していく。
- 建物の老朽化による修繕を計画的に実施していく。
- 2階建ての階段の昇降自体が困難な方が増えており、建物の見直しが急務。
- 生ゴミ処理の事業所対応

※令和6年5月現在、岡之原エリアGH数13か所(男8:女5)
総定員数66 空床7

4.3年間実績推移

平均実利用者数　60⇒57⇒59(名)

【岡之原エリア　3年間スタッフ推移】

正　　規　27⇒30⇒29(名)
非正規常勤　10⇒　8⇒　6(名)
非正規非常勤　37⇒28⇒27(名)
派　　遣　　6⇒　0⇒　4(名)

令和６年度　地域生活支援拠点ゆうかり　事業報告（案）

【１】運営の基本方針　各事業共通

《事業名》
『生活介護』
『共同生活援助・短期入所』
『一般相談支援、特定相談支援、児童（障害児）相談支援』
『居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援等』
※令和３年７月以降休止～令和６年９月末で事業廃止
『鹿児島市障害者地域生活支援拠点事業（安心コールセンター機能）』

地域で暮らす一歩を安心して踏み出すための拠点として、障害のある方々が住み慣れた街で心から安心して暮らすことできる地域づくりを推進します。それが当たり前になる未来を目指して、様々な支援を切れ目なく、不安なく提供できる仕組みづくりを進め、障害のある人もない人も共に歩んで行く場所を目指します。

【２】令和６年度の概要

◎拠点事業全体　※（）内は前年度比　　令和７年３月31日時点

事業	定員	期首	期末
共同生活援助（くろーばー）	６名	６名	６名
共同生活援助（すみれ）	６名	６名	６名
共同生活援助（くるみ）	６名	６名	６名
生活介護（ぱすてる）	２０名	４０名（－２）契約者数	４０名（＋２）契約者数
特定・児童相談（あとりえ）	－	３４７名（＋３０）契約者数	３２５名（－２２）契約者数

【３】各事業報告

○生活介護　ぱすてる　定員２０名

１）事業報告　担当職員：鳥丸

令和６年度は、契約者数40名でスタートした。年度途中に変動はあったが、令和７年３月31日時点でも契約者数40名を維持した。週５日で利用されていた方の利用

頻度が減少したものの、年明け以降に新規利用者が微増したため、稼働率は前年度比で-0.4%となった。また、土曜日の祝祭日振替による開所日数の増加もあり、利用者延べ数は前年度比で 296 名の増加となった。

活動においては、感染拡大防止に配慮し、活動内容や場所を工夫しながら、充実した室内活動や屋外での四季を感じられる余暇活動などを実施することができた。

利用者数の増加に伴い、活動内容の充実（プログラムの組み方を含む）や送迎体制の見直し、個別のニーズに対応するための検討が喫緊の課題となっている。今後は、事業所の利便性の高い立地や建物の特性を活かし、多様な活動や地域交流活動をさらに展開していく。

２）利用状況

令和６　（２０２４）年度　生活介護事業（ぱすてる）　事業報告（利用者数・稼働率等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数×２０（定員）	440	460	440	480	460	420
開所日数	22	23	22	24	23	21
利用者延べ数（名）	465	466	440	524	430	414
平均実利用者数	21.1	20.3	20.0	21.8	18.7	19.7
稼働率	105.7%	101.3%	100.0%	109.2%	93.5%	98.6%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
開所日数×２０（定員）	480	440	440	420	400	440	5320
開所日数	24	22	22	21	20	22	266
利用者延べ数（名）	487	423	421	411	375	424	5280
平均実利用者数	20.3	19.2	19.1	19.6	18.8	19.3	19.8
稼働率	101.5%	96.1%	95.7%	97.9%	93.8%	96.4%	99.2%

○共同生活援助　地域生活支援拠点ゆうかり（くろーばー・すみれ・くるみ）

定員：６名×３ホーム＝１８名

１）事業報告　担当職員：田中

令和 6 年度は、定員 18 名に対し現員 18 名（満床）で期首を迎えた。5 月に 1 名の退去者があったが、短期入所利用を経て 7 月に新たな入居者を迎え、再び満床となった。その後、11 月に施設入所への移行に伴い 1 名の退去があったが、入居希望で待機されていた方が 12 月に短期入所利用を経て 1 月に入居されたため、年度末時点でも満床を維持できた。結果として、通年の稼働率は前年度比で 1%減となった。

入居者の方々に対しては、地域移行に向けた相談や体験の機会を積極的に調整した。また、保護者の方々が抱える「親亡き後」への不安を軽減できるよう、将来に向けた個別相談や併設する短期入所での宿泊体験の提案などを推進した。

今後も、現員に変動があった際には迅速かつ円滑に対応できる体制を整えてい

く。具体的には、入居希望者の方々との連携を継続し、空き情報の提供やスムーズな移行支援をサポートしていく。

さらに、次の地域生活の場へのステップアップを検討される方々に対しては、関係機関との密な連携を図り、それぞれの目標達成に向けた支援を強化する役割を担っていく。そして、入居者の方々が新たな楽しみを見つけ、より充実した地域生活を送れるようなアイデアを発信し、日々の支援に活かしていく。

2）利用状況

令和6 （2024）年度　共同生活援助（地域生活支援拠点ゆうかり）　事業報告（利用者数・稼働率等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数（利用人数）	18	18	17	18	18	18
開所日数	30	31	30	31	31	30
定員（18）×開所日数	540	558	540	558	558	540
利用日数	498	487	474	514	471	492
平均実利用者数	16.6	15.7	15.8	16.6	15.2	16.4
稼働率	92.2%	87.3%	87.8%	92.1%	84.4%	91.1%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
件数（利用人数）	18	18	18	18	18	18	215
開所日数	31	30	31	31	28	31	365
定員（18）×開所日数	558	540	558	558	504	558	6570
利用日数	522	492	471	481	451	503	5856
平均実利用者数	16.8	16.4	15.2	15.5	16.1	16.2	16.0
稼働率	93.5%	91.1%	84.4%	86.2%	89.5%	90.1%	89.1%

○短期入所　あすてっぷ　定員４名（内１床は緊急一時保護用に空床補償）

1）事業報告　担当職員：田中

令和 6 年度は、感染対策を徹底しながら可能な限り受け入れを行ったが、結果と

して稼働率は前年度比で 4.9%減少した。

併設するグループホームとの連携を活かし、感染拡大防止の観点から流動的な調整を可能にするため、関係者との情報共有を密に行った。また、比較的利用ニーズの低い平日の定期利用を増やすため、将来の自立した生活を見据えた体験的な利用を具体的に提案し、稼働率向上に努めた。

今後も、関係機関との情報共有を継続し、緊急枠を除く実質定員 3 名分の稼働率向上を目指していく。引き続き、サービスの準備と創意工夫を重ね、利用者の方々にとってより良い支援を提供できるよう努めていく。

2）利用状況

令和6 （２０２４）年度　短期入所（あすてっぷ）　事業報告（利用者数・稼働率等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数×定員	120	124	120	124	124	120
開所日数	30	31	30	31	31	30
利用日数	50	48	53	41	54	50
平均利用人数	1.7	1.5	1.8	1.3	1.7	1.7
稼働率	41.7%	38.7%	44.2%	33.1%	43.5%	41.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計or平均
開所日数×定員	124	120	124	124	112	124	1460
開所日数	31	30	31	31	28	31	365
利用日数	55	61	46	47	55	59	619
平均利用人数	1.8	2.0	1.5	1.5	2.0	1.9	1.7
稼働率	44.4%	50.8%	37.1%	37.9%	49.1%	47.6%	42.4%

〇一般相談支援、特定相談支援、児童相談支援　あとりえ

1）事業報告　担当職員：塩満　福留　中川

令和 6 年度は、鹿児島市在住の障害児（者）およびその保護者等に対し、相談支援、電話相談、訪問相談、関係機関との連携を継続的に実施した。

相談支援専門員 3 名体制で、計画作成、電話相談、訪問相談、同行相談、来所相談等に対応した。相談内容としては、計画作成依頼、福祉サービス利用に関する相談、本人の不安解消、情緒安定に関する支援が多数を占めた。計画作成業務（モニタリング含む）においては、事業所内での情報伝達会議等を活用し、相談員間で密に連携を図りながら業務効率化に努めた。

地域生活支援拠点事業を通じて連携を図る関係機関の幅が広がり、これにより地域における支援体制が強化されつつある。今後も、地域生活支援拠点事業に紐づく計画相談支援の機能強化（基本報酬アップ）や関連加算を積極的に活用していく。

また、主任相談支援専門員や拠点コーディネーターの配置により、行政や鹿児島市基幹相談支援センターと連携し、地域における人材育成や地域移行支援においても重要な役割を担っていく。今後も、相談員が一人で抱え込むことがないよう、事業所内での連携強化に加え、地域の関係機関との一層の協働を図っていく。

２）利用状況

指定特定相談支援・児童相談支援　実績集計（令和6年4月～令和7年3月）

		R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	件数	昨年度比	R5合計
全体	ｻ等計画	22	11	15	11	15	14	13	13	12	12	14	16	168	-18	186
	ｻ計・モニ	40	47	38	41	46	45	40	45	34	38	43	41	498	4	494
	児支計画	26	4	6	7	14	8	8	12	11	10	8	6	120	-13	133
	児計・モニ	16	19	14	11	13	23	8	8	7	14	9	9	151	-25	176
													全総件数	937	-52	989

（注）「サ等計画」「サ計」…『サービス等利用計画』　「モニ」…『モニタリング』
「児支計画」「児計」…『児童支援利用計画』

令和６（２０２４）年度	利用者（前年度比）
特定相談	２１１（－１７）名
児童相談	１１４（－　５）名
合計	３２５（－２２）名

※令和７年３月末時点の利用者数（初回の計画請求まで至った利用者総数）

○在宅支援サービス（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援）
となりびと

１）事業報告　担当職員：塩満

鹿児島市に在住する障害児（者）の在宅生活を支援するため、居宅介護（身体介護・通院等介助）、重度訪問介護、行動援護、移動支援などのサービス提供に取り組んできた。しかし、令和３年６月末以降、職員配置が困難となったため、当該事業は休止状態となっていた。

事業再開に向けて継続的に求人活動を行い、再開を目指してきたが、昨今の福祉人材不足は深刻であり、再開の目途が立たない状況が続いていた。　その結果、誠に遺憾ながら令和６年９月末をもって、居宅介護等サービス事業は廃止となった。

２）利用状況

休止期間中の事業廃止のため実績なし

○鹿児島市障害者地域生活支援拠点事業（安心コールセンター）

１）事業報告

24 時間 365 日体制で緊急対応や体験の場提供のコーディネート業務を実施し、事業開始から 8 年目を迎え、地域ネットワークも着実に構築されつつある。

困難事例については、鹿児島市行政、基幹相談支援センター、地域の関係機関等と協働し対応した。緊急一時保護の受け入れも鹿児島市行政と協議の上で実施した。受け入れ前後から関係機関と密に連携し、１法人・１事業所での抱え込みを防ぐため、必要に応じて担当者会議を開催し、本人及び家族を側面からサポートした。空床を活用した宿泊体験の受け入れについては、拠点部会で受け入れ条件の緩和・見直しを図った。次年度も体験の場提供の充実が課題である。

令和 6 年度は、地域連携（面的整備）強化を推進し、定期ミーティングや部会等を活用し体験の場提供を検討した。今後も、法人内の拠点コーディネーターや主任相談支援専門員と共に、これまでに構築したネットワーク（拠点協定や相談支援ネットワーク等）を最大限に活用し、法人内外の協力体制をさらに整えていく。

２）利用状況

障害者地域生活支援拠点　実績報告書　（令和６年４月～令和７年３月分）

１．相談件数 ・ 緊急一時受入件数

（単位：件）

相談件数（うち時間外）	485件	（156件）
うち 緊急相談　（うち時間外）	40件	（14件）
うち 緊急一時受入（うち時間外）	4件	（2件）

２．相談内容の内訳

（単位：件）

①家族等養護（介助）者の疾病等による急な不在	②身体機能・行動上の制約から自宅等での生活が困難となった場合	③知的障害における行動障害や情緒不安定等により自傷・他害の恐れのある場合	④精神障害者における精神的不安等に伴う一時的な避難等
8	1	4	1
⑤福祉サービスの利用等	⑥障害や病状の理解	⑦健康・医療	⑧不安の解消・情緒安定
133	5	3	8
⑨保育・教育	⑩家族・人間関係	⑪家計・経済	⑫生活技術
2	36	10	1
⑬就労	⑭社会参加・余暇活動	⑮権利擁護・成年後見制度等	⑯その他
3	4	37	229

【４】**職員研修等**　令和６（2024）年４月～令和７（2025）年３月

4/25　障害福祉人材育成研修　ファシリテーター研修　１名　塩満
6/8　KGSN　総会・第１回全体研修会　３名　福留　中川　塩満
8/6　鹿児島県立特別支援学校　研修　１名　福留（講師）
9/6　クリエイティブ研修（アート）入門編　２名　溝下　塩満
9/13　クリエイティブ研修（アート）応用編　１名　塩満
9/30　定例会研修会　３名　福留　中川　塩満
9/　サービス管理責任者　更新研修　１名　鳥丸
10/　サービス管理責任者　更新研修　１名　田中
10/23　強度行動障害支援者養成研修　企画運営会議　１名　塩満
10/23　障害福祉人材育成研修　ファシリテーター研修　１名　塩満
11/14-15　強度行動障害支援者養成研修　基礎研修　１名　塩満（講師）
11/25　鹿児島県居住支援ネットワーク研修会　１名　塩満
12/5-6　強度行動障害支援者養成研修　基礎研修　２名　溝下　塩満（講師）
12/12-13　強度行動障害支援者養成研修　基礎研修　２名　今村　塩満（講師）
1/15　強度行動障害支援者養成研修　企画運営会議　１名　塩満
1/15　障害福祉人材育成研修　ファシリテーター研修　１名　塩満
1/22　県障害者芸術文化活動支援センターKADAC　芸術活動の進め方　１名　塩満
2/6-7　強度行動障害支援者養成研修　実践研修　２名　溝下　塩満（講師）
2/13-14　強度行動障害支援者養成研修　実践研修　２名　今村　塩満（講師）
3/25-27　強度行動障害支援者養成研修　基礎・実践研修　１名　中川

【５】**職員数**（令和７年３月３１日時点）

職員区分	男性	女性	合計	前年度比
正規職員	9名	5名	14名	+1名
非正規職員	7名	16名	23名	-2名
派遣職員	-	5名	5名	+2名
職員合計	16名	26名	42名	+1名

令和6年度 ゆうかり保育園 事業報告(案)

Ⅰ 【全体所感】

前年度に続いて職員不足ではあったが、子ども達がのびのびと楽しく過ごせる環境を整え、より安全に保育をするにはどうしたら良いのか考えられる1年であった。

また、職員間のチームワークも良く様々な年代の職員がお互いの考えを伝え合うことができ、より良い保育を常に更新できていたと感じる。

チームワークは良いものの、報連相に関して行き届いていない部分もあったため、スマホなどを使った連絡ツールを活用したり、細やかな声掛けを意識して確実に情報共有ができるよう職員全体で気を付けていきたいと思う。

Ⅱ 【在籍園児の状況】

園児の状況(令和7年3月31日現在)✿ 67名

0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体	
たんぽぽ		いちご		さくらんぼ		うめ		もも		さくら			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
2	4	9	4	6	5	8	4	8	3	6	8	39	28

園児の状況(令和7年5月1日現在)✿ 70名

0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体	
たんぽぽ		いちご		さくらんぼ		うめ		もも		さくら			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
3	3	5	6	9	4	7	7	9	4	8	5	41	29

障害児等(令和7年3月31日現在)

障害児		軽度障害児		療育支援児	
男	女	男	女	男	女
3	1	1	0	10	2

障害児等(令和7年5月1日現在)

障害児		軽度障害児		療育支援児	
男	女	男	女	男	女
2	1	1	0	6	1

Ⅲ 【行事の実施状況】

・うめ→年少組　・もも→年中組　・さくら→年長組

月	日	行事内容	備考
4	1	入園式	新入園児及び保護者
5	11	親子遠足(平川動物公園)	全園児及び保護者
5	24	芋の苗植え	もも組
7	13	お泊り保育	さくら組
7	23	ブルーベリー狩り	うめ組
8	4	手話イベント	さくら組
8	21	夏祭り	全園児
8	24	卒園児同窓会	令和5年3月卒園児(新1年生)
9	21	親子レクリエーション	全園児及び保護者
10	4	秋の遠足	全園児
10	23	芋掘り・みかん狩り	もも組
10	31	ハロウィン	全園児
12	15	発表会(鹿児島国際大学)	全園児及び保護者
12	24	クリスマス会	全園児
2	3	豆まき	全園児
3	3	ひな祭り	全園児
3	7	お別れ遠足	全園児
3	13	春のたわわ祭り参加	さくら組
3	15	卒園式	さくら組及び保護者

◆毎月　スポーツ教室(外部講師)、読み聞かせ(外部講師)、英語
　　避難訓練、身体測定、食育・クッキング
◆鹿児島市立図書館移動図書館(年間20回)3歳以上児
◆内科検診　5月22日(水)、11月20日(水)
　　【年2回】ゆあさこどもクリニック
◆歯科検診　11月21日(木)
　　【年1回】たんぽぽ歯科
◆幼児保育相談
　　5月17日(金)
　　6月25日(火)
　　7月26日(金)
　　11月20日(水)
　　2月19日(水)

Ⅲ【職員研修状況】

研修名	開催期日	開催場所	参加人数	キャリアアップ
南ブロック保育・給食合同研修会	6月22日	鹿児島国際大学	1	
アンガーマネジメント	7月16日	奄美の里	1	
保育職員の危険予知活動実践研修	9月11日	宝山ホール	1	
マネジメント研修	5月17日 6月18日 7月25日 10月8日 12月6日	サンプラザ天文館 奄美の里 センテラス天文館	2	○
保護者支援・子育て支援	1月27日29日	Zoom	1	○
障害児保育研修	1月31日 2月3日	Zoom	1	○
幼児教育	2月5日、6日	Zoom	1	○
食育・アレルギー対応	2月17日, 18日	Zoom	1	○

※キャリアアップ研修とは、保育士がキャリアアップを図りやすいように目的毎に指針を決め、研修を実施する制度。

Ⅳ【実習生、職場体験他受入状況】

実施日	学校名	人数
令和6年 7月8日～7月20日	第一幼児教育短期大学	1名
5月14日～5月16日	谷山中学校	4名
5月21日～5月23日	福平中学校	4名
5月27日～6月8日 11月18日～11月30日	鹿児島純心大学	1名
10月16日～10月18日	指宿商業高校	1名
11月12日～11月15日	鹿児島実業高校	2名
6月3日～6月14日	鹿児島純心女子短期大学	1名
8月16日～8月27日	福岡女子短期大学	1名
8月19日～8月31日	鹿児島純心女子短期大学	1名
9月5日～9月19日	鹿児島国際大学	1名
令和7年 2月4日～2月18日	鹿児島国際大学	1名
2月14日～2月27日	鹿児島女子短期大学	2名

2月5日～2月7日	鹿児島南高校	2名

Ⅴ【監査結果】

令和6年9月9日実施
鹿児島市指導監査　　文書指摘　0件　口頭指摘　3件
鹿児島市保育幼稚園課指導監査　文書指摘　0件